

**平成 18 年度**

**建設局予算要求方針**

## - 目 次 -

1	平成 18 年度予算要求にあたっての基本的考え方・・・・・・・・・・	1
2	平成 18 年度建設局予算要求総括表・・・・・・・・・・	2
	【一般会計】	
	【特別会計】	
3	予算要求の重点事項・・・・・・・・・・	4
	(1) 世界に誇れる環境の街さっぽろ <sup>1</sup>	
	(2) その他の重点施策・事業	
4	事務事業の総点検・・・・・・・・・・	12
	(1) 事務事業の見直し	
	(2) 受益者負担	
	(3) 事業の選択と集中によるもの	

---

<sup>1</sup> 世界に誇れる環境の街さっぽろ：さっぽろ元気ビジョンを実現するために策定するプランのひとつである札幌新まちづくり計画(今後のまちづくりの考え方や、重点的に進める施策・事業などを定める中期実施計画)に掲げる施策体系別計画の5つの目標のひとつ。さらに、この目標実現のための重点戦略課題を4つに分類している。

## 1 平成 18 年度予算要求にあたっての基本的考え方

札幌市の財政状況は、中期財政見通しにおいて 18 年度末には 192 億円の収支不足が見込まれ、当年度において「財政構造改革プラン<sup>2</sup>(以下「改革プラン」という。)」に掲げた取組みを進めてもなお、歳入歳出の状況変化などから引き続き厳しい環境におかれています。

このため、18 年度の建設局予算要求枠は、対前年度一般財源比で経常的経費 3.77% (改革プラン追加 2%を含む)と臨時的経費 20%の削減を図ることとなっています。

こうした厳しい状況の中、建設局としては、改革プランの 18 年度の取組項目について、着実に推進していかなければならない一方で、本年度の建設局実施プラン<sup>3</sup>において掲げている、「道路・河川の整備・維持・管理等を通じ、市民の安心・安全で快適な生活を守ること」という使命を引き続き果たしていかなければなりません。

そこで、建設局では次の 3 点について重点事項と位置づけ、限られた財源の中で、効率的・計画的な執行ができるように、予算要求することとしています。

事務事業の抜本的な見直し及び再構築（必要最低限の義務的経費の精査や効率的、効果的な事業手法の検討など）

選択と集中の促進による計画事業の確実な推進

収納率向上に向けた積極的な取組みの推進

<sup>2</sup> 財政構造改革プラン：市役所改革のうち財政の改革をより具体化したプラン。平成 18 年度までに見込まれている収支不足を解消するための具体的な取組項目と、引き続き中長期的に検討を進めるべき課題が整理されている。

<sup>3</sup> 建設局実施プラン：施政方針「さっぽろ元気ビジョン」の実現を図っていくため、また、建設局の使命を着実に果していくために、市長との協議・確認を経て建設局長が策定した実施計画。このプランは、平成 17 年度の事務事業で建設局長が特に重要と考える事項を中心として策定している。

## 2 平成 18 年度建設局予算要求総括表

### 【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 17 年度 予 算 額 (A)	平成 18 年度 要 求 額 (B)	増 減 額 (B) - (A) = (c)	増 減 率 (C / A × 100)
管理部	23,166 (17,958)	22,392 (17,201)	774 (757)	3.3% (4.2%)
うち雪対策室	14,981 (13,304)	14,860 (13,158)	121 (146)	0.8% (1.1%)
用地部	644 (0)	1,649 (0)	1,005 (0)	156.06% (-%)
土木部	38,002 (10,097)	35,219 (8,807)	2,783 (1,290)	7.3% (12.8%)
合 計	61,812 (28,055)	59,260 (26,008)	2,552 (2,047)	4.1% (7.3%)

1 ( )内は一般財源額

2 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある

【特別会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 17 年度 予 算 額 (A)	平成 18 年度 要 求 額 (B)	増 減 額 (B) - (A) = (c)	増 減 率 (C / A × 100)
駐車場会計 (札幌駅北口地下駐 車場)	2 3 8	2 2 8	1 0	4 . 2 %
公共用地先行取 得会計	7 1 0	0	7 1 0	皆減
砂防用地先行取 得会計	4 6 0	1 0 3	3 5 7	7 7 . 6 %

なお、下水道事業会計を除く

### 3 予算要求の重点事項

#### (1) 世界に誇れる環境の街さっぽろ

日常生活や余暇活動など様々な場面でうるおいと安らぎを感じることで、できるまちづくりを推進するため、良好な水辺環境を保全するとともに、河川の環境整備や水環境の改善に取り組む。また、地域特性に応じた効率的・効果的な雪対策を進めるとともに、歩行者と自転車が快適に利用できる空間の創出や魅力的で活力のある都心の再生などを実施する。

#### 1 水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現

2,170百万円(2,793百万円)

注:( )内は17年度予算額

ア 水と緑のネットワーク事業(土木部) 113百万円【新まち等】

水枯れなど水辺環境の悪化している河川に、せせらぎを取り戻すために導水施設整備等を行う。

イ 多自然型川づくり事業(土木部) 2,057百万円【新まち等】  
(うち多自然型河川整備事業 55百万円)

自然豊かで親しみのある水辺環境を創出するため、治水事業に併せて、散策路や広場等の親水施設整備、生物の生息環境に配慮した環境整備、治水整備完了河川の再生整備を行う。

#### 【成果指標】

多自然型河川の整備延長

【目標】 10km(H17) 11km(H18)【効果】1km増

## 2 北国らしいゆたかな暮らしの実現

1,633百万円(1,310百万円)

注:( )内は17年度予算額

### ア 冬の生活文化情報発信事業(管理部) 12百万円【新まち等】

札幌(北国)特有のライフスタイルや生活文化に関心を持てるようなウェブページ<sup>4</sup>を集めたポータルサイト<sup>5</sup>を作成し情報提供を行う。併せて、市広報誌折込みなど雪対策事業についてのPRを行う。

### イ 凍結路面对策費(管理部) 75百万円【新まち等】 (うち 歩道の凍結路面对策による歩行環境の改善 31百万円)

冬期道路交通の円滑化と安全性の向上のため、公共施設周辺の歩道の凍結防止剤の散布及び砂箱の設置を行う。

#### 【成果指標】

市民の協力による歩道への滑り止め材の散布

【目標】 47%(H17) 50%(H18) 【効果】3%向上

### ウ パートナーシップ排雪費及び市民助成トラック事業費等(管理部) 1,546百万円【新まち等】 (うち地域に密着した雪処理の推進 16百万円)

冬期生活環境の充実を図るため、パートナーシップ<sup>6</sup>による市民・企業・行政のそれぞれが役割を分担し、連携しながら生活道路の排雪を行うとともに、地域で処理する地域密着型の雪処理体制を進める。

#### 【成果指標】

市民とのパートナーシップによる除排雪

【目標】1,075件(H17) 1,100件(H18)【効果】25件増

<sup>4</sup> ウェブページ:インターネットのホームページのこと。

<sup>5</sup> ポータルサイト:インターネットでウェブ-ページを見る際に、最初に入るウェブ-サイト。

<sup>6</sup> パートナーシップ:共同で何かを行うための、対等な協力関係のこと。

### 3 歩いて暮らせる快適で美しい街の創造

10,274百万円(4,674百万円)

注:( )内は17年度予算額

ア JR白石駅周辺地区整備費(土木部) 760百万円【新まち等】  
自由通路、駅前広場の整備などJR白石駅周辺の改善を行う。

イ 歩道バリアフリー<sup>7</sup>化事業・無電柱化事業(土木部) 1,832百万円【新まち等】  
(うち歩道バリアフリー化事業 845百万円)

歩道の段差解消や無電柱化による良好な歩行空間の確保を図るため、歩道バリアフリー化や電線共同溝整備を実施する。

#### 【成果指標】

歩道のバリアフリー化の状況

【目標】60%(H17) 80%(H18) 【効果】20%向上

ウ 歩行者と自転車の共存する空間の創出事業費(管理部) 163百万円【新まち等・レベルアップ】

歩行者と自転車の共存を図りながら利用できる道路等の公共空間を創出し、市民生活の快適性の向上や都市機能の維持を図るために、以下の事業を実施する。

放置禁止区域内自転車対策業務  
札幌駅周辺の有料駐輪場の管理  
都心部における路上駐輪場の整備  
自転車等放置禁止区域の拡大  
都市型レンタサイクル<sup>8</sup>  
自転車駐輪のマナーについての啓発活動(4百万円【レベルアップ】)

<sup>7</sup> バリアフリー:高齢者や障がいのある人などが社会生活をしていくうえで障壁となるものを除去すること。

<sup>8</sup> 都市型レンタサイクル:自宅から駅まで自転車を利用する人と駅から会社や学校まで自転車を利用する人が、2人で自転車を共有することにより、路上放置自転車の削減と駐輪場施設の有効活用を図る事業。



エ 大通・駅前通の景観保全型広告整備地区の指定（管理部）

【新まち等】（予算計上なし）

都市景観形成地区に指定されている大通及び札幌駅前通について、「景観保全型広告整備地区」に指定し、不法占用物件に対する適正化業務と連携して、屋外広告物掲出のルールづくりや一定の規制を行う。

【成果指標】

都心部の歩行空間の屋外広告・看板の数

【目標】 212個(H14) 150個(H18) 【効果】62個減

オ 札幌駅前通地下歩行空間整備費（土木部） 2,924百万円【新まち等】

地下鉄「さっぽろ駅」と「大通駅」を連絡する公共地下歩行空間の整備を行う。

カ 創成川通アンダーパス<sup>9</sup>連続化事業費（土木部）4,595百万円【新まち等】

創成川通の2つのアンダーパスを連続化し、交通の円滑化を図るとともに親水空間を創出する。

.....  
**(2) その他の重点施策・事業**

市民の安全と安心を確保し災害に強いまちづくりを進める。

道路の機能を確保するため、維持補修・清掃、街路灯や標識などの整備・管理などの維持業務を効率的かつ適正に行う。

都市の計画的発展や都市機能の強化を図るため、道路整備や河川整備などの社会基盤の整備を行う。

<sup>9</sup> アンダーパス：線路や道路などを地下道の立体交差でくぐる構造のこと。

## 1 道路の適正な管理

34百万円(48百万円)

注:( )内は17年度予算額

本市の管理する市道・道道を対象に、道路の正しい利用についてのPRと不法占用物件の一掃と地域の特色に応じて、その地域ごとの屋外広告物の許可基準等を定める「地区指定制度」を活用し、優れた都市景観の形成と風致の維持を図る。

また、道路交通の障害、冬期間の除雪の障害となっている放置車両の撤去を実施する。

ア 不法占用指導事業費(管理部)	8百万円
イ 屋外広告物指導事業費(管理部)	22百万円
ウ 放置自動車処分委託費(管理部)	4百万円

## 2 歩行者と自転車の共存する空間の創出

163百万円(217百万円)

注:( )内は17年度予算額

近年増加している自転車について、総合的な対策を推進し、歩行者と自転車の共存する道路等の公共空間を創出し、市民生活の快適性の向上や、都市機能の増進を図ります。

ア 歩行者と自転車の共存する空間の創出事業費(管理部)(再掲)	163百万円【新まち・レベルアップ】
---------------------------------	--------------------

## 3 道路交通機能の維持

4,978百万円(5,244百万円)

注:( )内は17年度予算額

道路は市民生活と経済活動を支えるための基礎的な都市基盤であり、都市機能を支える重要なライフラインである。

この機能を確保していくため、維持補修・清掃、街路灯等の整備・管理等を業務の効率化を図りながら、効果的で適正な道路交通機能の維持に努める。

ア	道路橋りょう維持費（管理部）	2,972百万円
イ	道路清掃費（管理部）	853百万円
ウ	市設街路灯維持管理費・市設街路灯整備費（管理部）	1,153百万円

#### 4 冬期道路交通機能の確保

14,537百万円（14,653百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

平成12年8月に策定した「札幌市雪対策基本計画」に基づいて、「冬期道路交通の円滑化と安全性の向上」、「パートナーシップによる冬期生活環境の充実」、「人と環境にやさしい雪対策の実現」を基本方針とし、より効果的・効率的に除排雪、凍結路面对策などの事業を展開する。

・狭小バス路線の除排雪 ・交差点排雪 ・凍結防止剤散布 ・歩行者用砂箱設置など

ア	除雪費（管理部）	14,537百万円
---	----------	-----------

#### 5 円滑な道路交通の確保

13,248百万円（17,126百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

魅力的で活力ある都市の実現を目指すために、札幌都市圏全体における主要幹線道路のネットワークを強化し、交通公害の防止や経済の活性化を支え、また、公共交通がより多くの人に利用されるように、安全性・快適性の確保など利便性の向上を図る。

ア	主要幹線道路の整備（土木部）	1,569百万円
イ	公共交通の利便性向上に資する道路整備（土木部）	5,364百万円
ウ	立体交差事業（土木部）	2,659百万円
エ	JR白石駅周辺地区整備費（土木部）（再掲）	760百万円
オ	補助幹線道路の整備（土木部）	2,896百万円

#### 6 安心・安全な道づくりの推進

6,440百万円（9,747百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

高齢者や障がいを持つ方の自立した生活を支援し、誰もが歩きやすいバリアフリー化された歩道空間の創出や、美しい街並み形成のための道路の無電柱化など、快適で安心な道路の整備を図る。また、市民の安全性向上のため、日常生活に密着した生活道路や歩道の整備のほか、特に死傷事故率の高い危険箇所での安全対策等、安心・安全な道づくりを進める。

ア	あんしん歩行エリア整備・事故危険箇所対策（土木部）	1 4 7 百万円
イ	生活道路整備（土木部）	4 , 4 6 1 百万円
ウ	歩道のバリアフリー化（土木部）(再掲)	8 4 5 百万円
エ	道路の無電柱化（土木部）(再掲)	9 8 7 百万円

## 7 都心の再生

7 , 5 1 9 百万円（ 2 , 5 5 5 百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

札幌駅前通や創成川通において、歩いて楽しい歩行空間や親水空間を創出することにより、都心に魅力的なにぎわいを創出する。

また、人と環境を重視し、都心を活性化させるために、都心の通過交通を低減させる適正な自動車利用による交通の円滑化、道路空間の再配分による円滑で安全な交通環境の具体化を進める。

ア	札幌駅前通地下歩行空間整備費（土木部）(再掲)	2 , 9 2 4 百万円
イ	創成川通アンダーパス連続化事業費（土木部）(再掲)	4 , 5 9 5 百万円

## 8 災害に強い街づくりの実現

4 , 0 9 7 百万円（ 5 , 0 8 2 百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

道路橋の耐震補強や、情報収集環境の充実・関連機関との情報共有化を推進し、災害・事故等の未然防止や迅速な対応による安全な通行の確保を図る。

また、近年、大都市においては、河川の氾濫により都市機能に重大な影響を及ぼす「都市型水害」が頻発していることから、洪水から市民を守り、安全な社会基盤を確保するため、水害に強いまちづくりを推進する。

ア	既設橋りょうの耐震補強（土木部）	6 5 0 百万円
イ	I T Sの推進（土木部）	2 5 5 百万円
ウ	河川改修事業（土木部）(多自然型川づくりを含む 再掲)	2 , 2 5 6 百万円
エ	河川の流域貯留事業（土木部）	2 9 7 百万円
オ	河川の適正な維持管理（土木部）	6 3 9 百万円

## 9 良好な水辺環境の創造

198百万円(389百万円)

注:( )内は17年度予算額

水量が減少し水枯れを起こすなど水環境が悪化している河川に、せせらぎを取り戻し、人と自然が調和したまちづくりを進めるため、水辺の魅力を活かしたうるおいと安らぎのある水辺環境を創造する。

ア 水辺環境の再生・創出(土木部)	70百万円
イ 水と緑のネットワーク事業(土木部)(再掲)	113百万円
ウ 市民との協働による川づくり(土木部)	15百万円

## 4 事務事業の総点検

### (1) 事務事業の見直し

一般事務費の節約や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

<見直し額 5 0 百万円>

除雪作業等の効率化や、車両管理事務所の事務の効率化

<見直し額 3 3 6 百万円>

施設の保守レベルや、維持管理業務の契約方法の見直しによる経費節減

<見直し額 1 8 百万円>

道路の清掃レベル等の見直し

<見直し額 8 6 百万円>

道路清掃事業の頻度(回数)を主に見直しする。

道路・橋りょう等の維持補修作業等の見直し <見直し額 1 6 7 百万円>

側溝・立体交差・橋りょう等維持補修の作業内容等の見直しや緊急性の高いものに重点化をする。

なお、<見直し額合計 6 5 7 百万円>は一般財源分である。

### (2) 受益者負担

道路占用料(看板類 500 円(m<sup>2</sup>/月) 740 円(m<sup>2</sup>/月)など)

<見直し額 5 4 百万円>

堤防使用料(類似の土地価格×5.25/100 5.50/100)

<見直し額 1 6 百万円>

なお、見直し額は、段階的改定における 18 年度改定内容である。

### (3) 事業の選択と集中によるもの

<見直し額 2 , 5 7 6 百万円>

限られた財源の中で、新まちづくり計画に位置付けられた事業等を着実に推進するため、道路や街路などの新設改良事業を、より効率的・効果的に実施するとともに、事業の重点化・優先化を図ることとする。